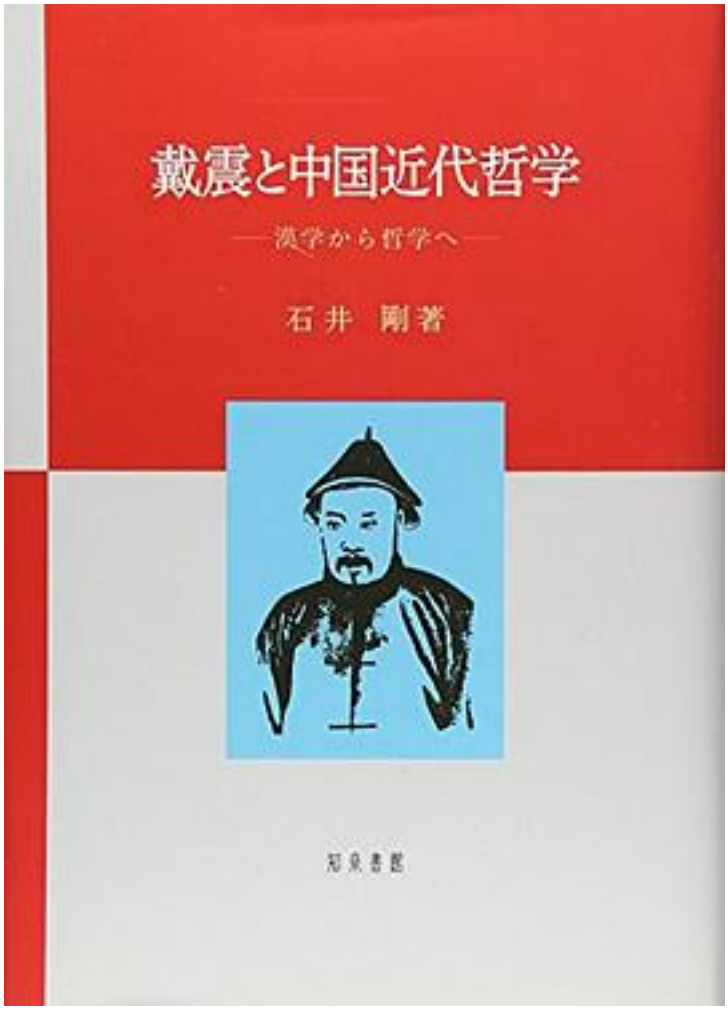
戴震と中国近代哲学



戴震と中国近代哲学_下载链接1_

著者:石井 剛

出版者:知泉書館

出版时间:2014-1

装帧:单行本

isbn:9784862851697

1部では1900年前後の王国維や梁啓超の哲学観と、民族革命の理論的支柱である章炳

麟と劉師培の戴震像を通して、“戴震の哲学”の確立以前の戴震論を考察する。2部では梁啓超と胡適が新文化運動を背景に確立した“戴震の哲学”像の特徴を分析し、同時に彼の哲学の内在的論理を抽出して、戴震の思想が西洋の影響なしにはあり得なかったことを明らかにする。3部では劉師培の歴史哲学構想と章炳麟の政治哲学・言語哲学が、戴震をはじめ清代漢学からの栄養により形成されたことが示される。ここに中国近代哲学の実相を解明する。

作者介绍:

1968年生まれ。東京大学大学院人文社会系研究科(東アジア思想文化専門分野)博士課程修了。現在東京大学大学院総合文化研究科准教授。博士(文学)(本データはこの書籍が刊行された当時に掲載されていたものです)

目录:

戴震と中国近代哲学_下载链接1_

标签

近代哲学

计划

清史

思想史

哲学

mzd

评论

离上次标记想读过去了快三年...

戴震と中国近代哲学_下载链接1_

书评

戴震と中国近代哲学_下载链接1_